

(3) 三十日未滿ノ従業員ニ對シテハ解雇手當ヲ支給スルコト  
 翌三十一日午後一時組合長萩塚外二名ハ組合ヲ代表本社ニ  
 函專務ト會見口頭ヲ以テ前記三項ヲ歎願セルニ合專務ハ會社  
 ノ營業狀態並ニ昭和五年度一上半期ニ於ケル收支等ヲ陳述  
 明ニ現在ノ窮地ヲ脱スル為ニ刻ノ解雇ハ止ムヲ得サルニ付諒  
 解セラレタシト拒絶セルニ一因ハ午後三時一應退出シ更ニ本  
 月二日午後一時ヨリ本利ニ於テ役員會ヲ開催シ萩塚以下二六  
 名集合會社トノ交渉狀況ヲ報告シ係テ之カ對策ヲ協議セルカ  
 會社ノ營業狀態ヨリテ止ヲ得スト為ニ此際積極的行動ヲ避  
 ケ會社ノ發表ヲ待ツト、シテ午後三時散會セリ  
 其後現業員會トシテハ何等積極的行動ナク表面平靜ナルヲ解  
 雇者中六名ハ強硬分子ハ解雇有リ計合策動セントスル模様  
 アリ之ヲ推察注意中  
 右及申(通)報候也

勞社第 八四號

昭和六年一月十三日

警視總監 丸山 鶴吉

6. 1. 16

内務大臣 安達謙藏 殿  
 鐵道大臣 江木 翼 殿

社會局長 官 殿

各廳府縣長官 殿 (八天麻有呈)

武藏野鐵道株式會社従業員解雇之狀スル件 (第三報リ解決)

一 會社ハ従業員數化策トシテ再表提出者ニ依願免ノ形式ヲ取ルニテ發表  
 従業員側ハ二三策動アリタルニ強ト全負辭表提出十日解令等ヲ受領  
 一先解決セリ  
 二 解雇手當總額五万八千金内人平均五百八十圓

標記解雇問題之點ニ一 部従業員側ニ於テ策動中ナルコトハ既報  
 一 通ナルカ會社側ニアリテハ一月八日附ヲ以テ被解雇者ニ對シ